



◆追記：費用効果分析をこれだけで述べるのは、簡単すぎて申し訳ありません。費用効果分析には、費用最小化分析 (Cost-saving analysis)、費用効用分析 (Cost-utility analysis)、費用便益分析 (Cost-benefit analysis) などの種類があり、用いるべき場面や参考のできる情報でどのモデルを用いるかが異なります。他にも、費用効果比 (Cost Effectiveness Ratio, CER) や増分費用効果比 (Incremental Cost Effectiveness Ratio, ICER) についての技術的な点でも説明が必要です。倫理的な面を配慮して用いなければいけないという点について考えても、この技術を実際に利用するのはハードルが高いです。今回は、決断分析をご紹介しますことに絞ってご紹介しましたが、将来、この技術に関してもご紹介できる機会を頂きますと幸いです。現在、南部医療センター・こども医療センターには、これらの解析が行える Treeage というソフトウェアを導入して、解析ができるようにしておりますので、興味のある方はご連絡いただけますと幸いです。

【結論】

決断分析や費用効果分析のモデルを活用することで、科学的根拠に基づく効率的で効果的な医療決定を行うことができます。これにより、資源の最適化と患者の健康成果の最大化を図りながら、地域医療の質を向上させることなども期待されます。今後の課題として、これらの分析技術をさらに普及させ、医療従事者の間での理解を深めることも求められると思われます。

【参考文献】

Hunink, M. G. M., Weinstein, M. C., Wittenberg, E., Drummond, M. F., Pliskin, J. S., Wong, J. B., & Glasziou, P. P. (2014). Decision Making in Health and Medicine: Integrating Evidence and Values (2nd ed.). Cambridge University Press.
津川友介. (2020). 世界一わかりやすい「医療政策」の教科書. 医学書院.

この文書が沖縄県内の医療従事者にとって有益なガイドとなり、より質の高い医療サービスの提供に貢献することを願っています。

お知らせ

文書映像データ管理システムについて (ご案内)

さて、沖縄県医師会では、会員へ各種通知、事業案内、講演会映像等の配信を行う「文書映像データ管理システム」事業を平成 23 年 4 月から開始しております。

また、各種通知等につきましては、希望する会員へ郵送等に併せてメール配信を行っております。

なお、「文書映像データ管理システム」(下記 URL 参照) をご利用いただくにはアカウントとパスワードが必要となっており、また、メール配信を希望する場合は、当システムからお申し込みいただくことにしております。

アカウント・パスワードのご照会並びにご不明な点につきましては、沖縄県医師会事務局 (TEL098-888-0087 担当：宮城・國吉) までお電話いただくか、氏名、医療機関名を明記の上 omajimusyo@okinawa.med.or.jp までお問い合わせ下さいませようお願い申し上げます。

○「文書映像データ管理システム」

URL : <https://www.documents.okinawa.med.or.jp/Dshare/header.do?action=login>

※ 当システムは、沖縄県医師会ホームページからもアクセスいただけます。

